

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は915名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.43 Hくん (平成28年3月卒・航海専攻・現21歳) 遠洋まぐろ延縄漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 投縄：針に餌を付けて6時間かけて縄をながす。
- * 揚縄：ブラン（枝縄）を巻き取る。
- * ビンナカ、シイラなど魚の解体をする。

Q. 大変なことは？

- * 寝る時間が少ないこと（4～6時間）。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 仕事が終わってから部屋で寝たり、DVD鑑賞をすること。
- * ニューカレドニア、ニュージーランドの港に入ること。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 1か月間の乗船実習で初めてカツオの一本釣りをやったこと。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワーク、マグロ縄の七本刺しが役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * インドネシア語を覚える。
- * ブラン（枝縄）を早く巻き取る。
- * 一年目に積極的に仕事を覚える。

(平成30年3月28日)